

# 愛知スキー協通信

No.256

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会

2016年 6月 1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)



<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>

編集クラブ：望幻H a d a s h i SC

## 来シーズンに向けての

### なんちゃってアドバイス 文責 愛知スキー協会理事長 寺田康男

ほとんどの人の、シーズンが終わり雪の上で滑れなくなりました。「でもわたしは、頭の中で滑れます」とあなたは言えますか？

それほどは、生活の一部になっていないのが普通だと思います。ですが、もうじきどのクラブも総会の時期を迎えます。来シーズンのために、スキー生活にメリハリを付ける季節だと思っています。

私たちはスキー協(狂)です。総括と言うと大げさですが、現時点の到達点を自己分析しましょう！！そして新たに次のシーズンをみんなで作りましょう。

次のページに、あなたの頭の中を整理できるきっかけになればと思い、付録を付けました。書いて提出の義務はありません。ですが、指導員の皆さんには、初滑り等の研修会で、別な形式の用紙を渡しましたので、書き易い項目のだけにかまいませんので、できる限り提出をしてください。

今シーズンのあなたの滑りにケジメを付けてください。その事がきっとあなたのスキー技術の向上につながると私は、確信を持っています。

## スキークラブ 望幻H a d a s h i



### バスツアーin 菅平

3月18日(金)～20日(日)

29名の参加

### 今回が最後のバスツアー

2008年9月に寺田自宅にて、4家族13人が集まり「望幻 H a d a s h i」スキークラブの立ち上げ総会を行い、以後8回バスで3月の中旬に菅平へ行く行事を中心に据えた活動をやってきましたが、今回をもってこの様なかたちのバスツアーは最後とします。

理由は、親子で参加し、別々にスノースポーツと人の交流を通じた付き合いと絆をつくる機会になればとの思いで、学童に関わる親子に呼び掛けながらやってきました。残念ながら現役の親子に思い

を繋ぐことができなくなりました。

当初のクラブの思惑である『こどもは、ダシにして親が交流の輪を拡げながら楽しもう』『子どもたちは、そんな親たちの背中をみて子ども達の仲間の輪を拡げる』という考え・思いは定着しきれませんでした。

しかし、緑と熱田の枠を超えた子どもたちの成長と交流の芽が芽生えた気配もあります。

## 今後の Hadashi の在り方

今後は、クラブ活動を中心にした、行事計画と要求の実現を目指す方向性に变化して存続させたいと思います。

クラブ員となって意見を、出してほしいと思います。

裏面参照

### おおよそのこれからの予定

06月18日 第3週(土) 最後の菅平 Hadashi バスツアー反省会  
場所 寺田自宅にて 11:00 集合から 15:30 頃解散

09月 第?週(土)～(日) Hadashi 総会  
場所 日間賀島の民宿 16:00 頃 河和駅集合

## 桜エビを食べに行きました

4月3日(日曜日)

古林夫婦、荻野夫婦、平尾夫婦、寺田夫婦

4月17日(日曜日)

梶田父、竹内父、田所父、沖中母、寺田夫婦





# コースセッター講習会

4月16日17日野沢温泉スキー場で全国スキー協会のコースセッター講習会が行われました。

当初開催が危ぶまれましたが、講習会ということで開催されました。

10人ほどでの講習会でした。テストランでの参加者5名を加えての実施でした。

愛知からは、寺田康平と澤田安利が講習会に参加、澤田藍雅がテストランでの参加でした。

場所は湯の峰ゲレンデでした。当初予定の小毛無ゲレンデは、ポール練習を3セット結構大人数で行っておりました。



ポールをする場所も大変少ないので湯の峰ゲレンデを講習会専用ゲレンデにしたようです。

一般の人は進入禁止です。SAJのA・B級セッターの試験もしているようでした。

湯の峰の一番ゴンドラ乗り場に近い細いコースで実施しました。土曜日SL日曜日GSの予定で、土曜日はSLを行いました。

各自午前1回セットをしました。

康平さんが率先して一番にセットしました。

セット後すぐテストランですが、講習会のみということで硫安の用意もなくほぼ滑るに値しないような状態でした。

藍雅は、すぐ飽きてしまいリフト乗り場のそばで遊んでいました。

澤田は、午前の最後で時間のない中速攻で立てました。ゴンドラに乗ってヤマビコのレストランで昼食を取りました。

思ったほど混んでなく幸いでした。

午後も同様に2時半終了すぐ下山、宿に帰ってすぐミーティングでした。

日曜日やる気満々でしたが強風のためゴンドラが動かず、セット練習・テストランは、できませんでした。

宿で1時間強の講習会を行いました。宮川さんが考案製作した発砲スチロールの板に爪楊枝を赤と青に染めた物を刺して、卓上でセットの仕方を確認しながら話し合い等を行いました。早々の解散となりました。

ゴールデンウィークの合宿の相談を「白樺」によってしたあと、折角なので道の駅「千曲川」により、その後小布施の町を少し見て昼食を取り帰路につきました。



## 全国競技会の開催方法等に対する意見書・確認書

文責 東海ブロック長

愛知スキー協会理事長 寺田康男

### 第44回全国競技大会（2018年）の主管について

全国スキー協 29 期代表者会議と秋の理事会にて発言したように、東海ブロックの競技大会で行っているような、前半と後半に分けて行い。旗門員及びコース整備、記録係、等大会役員を競技選手が交替で行う方式の大会であれば、東海ブロックで主管を引き受けます。（全員参加のセルフジャッジの運営方式）

しかし、現在のやり方で引き継ぐ 2018 年の主管についてはお断りします。

### サマーセミナー（2016年8月27日・28日）について

秋の全国理事会にて議長採決されたように、東海ブロックで開催します。

場所は、岐阜 長良川スポーツプラザにて 2016年8月27日・28日にて会場は押さえました。

- ・メイン講演を「レッシュ4スタンス理論」
- ・分野別の指導方法の経験と実績の技術的な交流と研究会議的な分科会を行う（子どもスキー教室等）

上記内容で東海ブロックは考えています。組織部との具体的な検討、段取り等の日程調整をお願いします。

### 50周年記念行事について

秋の全国理事会にて議長採決及び、会長の栗岩さんからの提案があったように、記念行事ならば東海方式の記念競技大会もありうるのではないかの発言に基づき東海ブロック会議で検討を進めています。

場所は、岐阜 平湯スキー場にて、東海ブロックのスノーフェスティバルを全国規模で行うことを提案します。

- ・山スキー、ネイチャスキー、高山観光、冬の上高地散策、スキー教室、ボード教室、ポール練習等いろんなコース参加を同時開催できる。
  - ・源泉かけながし温泉にいつでも入れる老舗旅館で、200名以上が同じ宿で泊まれる。
- また、それ以上になれば隣の宿も交渉可能です。

### 東海ブロックのスノーフェスティバルへの全国スキー協の協賛と役員派遣・メイト等での宣伝等の検討について

来年の東海ブロックのスノーフェスティバルを 2017 年 1 月 28 日・29 日の日程で岐阜の奥美濃温泉郷・平湯温泉スキー場で行い、29日は競技大会（GS）をやります。東海ブロック方式の競技大会と言っても実際に参加してもらわないと理解できないと思います。初心、幼児、テレマークスキー、ボード、スキー、国体参加選手が、同じスタート台にて同じコースを滑ります。簡単な斜面で簡単なコース設定で、コース整備等で何度もコースに入ったとしても、実力以上のタイムは出ません。ぜひこんな大会があって、こんな楽しみ方があることを全国のスキーヤーならびに競技愛好者に実感して頂きたいと思います。2019年に記念行事の一つとして考えられる余地があるのなら来年からの役員の派遣と協賛の検討を願います。

競技大会参加者のすそ野を拓げ、組織拡大にも結びつくものと考えています。よろしくおねがいします。

## 初級者と滑るとは

文責 寺田康男

### 初級者にとってスキーが上手くなるとは

スピードを自身の体と履いている用具でつくり出し、その板の上に立ち続けることができるようになる事です。

・板と、自身の体に働きかけてはいるが、理屈と程度が理解できていない  
タイプに合ったバリエーションと説明が絶対に必要

### 乗り越えねばならない試練と指導の着眼点（具体的にできない事）

- 1、どんな所で転んでも、落下を一人で止めまれ、一人で起れるようになる
- 2、左右に素早く瞬間的に曲がれるよう、止まれるようになる
- 3、フォールラインを向いたまま、滑りながら脚の幅を変えられるようになる
- 4、滑りながら左右の脚を別々に運動させの左右の板の角度を自身で自在につくれる
- 5、自分自身がどんな姿勢・かっこうで、どれだけの足幅で、どれぐらい傾き、どちらに傾いているかを想像する事が出来るようになる
- 6、長い距離を他人と接触せず、転ばず、疲れないようにする

## 中級者と滑るとは

### 上級者との壁

- 1、滑れない斜面がある  
コブ      アイスバーン      急斜面      狭い斜面      深雪      悪雪      人で混んでいる斜面
- 2、自身で操作できる限界スピードが低い
- 3、ターンコントロールが中級者であって、状況変化による対処が、甘い  
加速、減速ができない
- 4、疲れずに滑れない  
体軸が作れない、ぶれる      理論づけがない

### 乗り越えねばならない試練と指導の着眼点（具体的にできない事）

滑りの理論がわかっていない    自分の滑りの理解度が低い

## 上級者と滑るとは

### 何を求めているのか察知できるかに鍵がある

- 1、自分の可能性を知りたい      この気持ちよさを、どこまでのばせるのか？
- 2、新しい滑りへの出会い      今までは、してこなかったけど、新しい楽しさが湧いてくる滑りと出会い、今までできなかったことを克服したい

以上

## 自分の考えを文章にしよう！

自分の考えを技術レポートしてください！でも、あなた自身の中に目標となる、あなたの技術テーマがないとなかなかできません、まずは自分なりの技術テーマをみつけだしましょう。手段として、人の技術見解で（前頁の寺田メモ、教程補強 DVD など）気になるところをメモ書きしてください。同感できない部分にケチをつけてください。そこから、事は始まります。同感できる部分を更に自分なりに掘り下げてください。

技術レポートを東海ブロック技術委員会に提出し、文章で技術委員会に参加しましょう！！

今シーズンのあなたの技術 テーマ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 氏名 \_\_\_\_\_

(感想・意見・現状の到達点)